

序 文

奈良市北郊の丘陵地帯に平城ニュータウンが計画され、昭和39年の分布調査によって、平城宮関係の瓦窯等のあることが知られていました。

主な遺跡が平城宮造宮にかかわるであろうという見通しによって、発掘調査は奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部に依頼しました。

昭和47年度の遺構確認調査は、同研究所の積極的な努力によって歌姫・押熊両地区で奈良時代瓦窯群を検出するなど、多大な成果をあげて頂きました。

調査の実施にあたり、ご協力いただいた関係各位に厚く謝意を表します。

昭和48年3月30日

教育次長 池田邦三

(遺跡調査室長事務取扱)